

GP-6000S(12dot)LAN 接続セットアップ手順

1	接続セットアップ概要.....	1
1)	セットアップ概要.....	1
2)	セットアップの流れ	1
2	セットアップ手順.....	2
1)	プリンタードライバファイルコピー (Windows Vista・Windows 7)	2
2)	プリンタードライバファイルコピー (Windows 8・Windows 10)	3
3)	プリンタードライバインストール	4
4)	PC-GP 接続手順(1 台接続時)	6
5)	PC-GP 接続手順(複数台接続時)	7
6)	PC 側アドレス確認、設定	8
7)	GP 側アドレス確認、設定 (複数台接続時は台数分実施)	13
8)	LAN 接続確認	14
9)	Windows ファイアウォール例外設定	15
10)	接続動作確認	21
11)	セットアップ後の GP 側アドレス変更手順	23
3	接続セットアップ後設定.....	29
1)	設定概要	29
2)	ラベル仕様設定方法(1 種類のみ使用)	29
3)	ラベル仕様設定方法 (複数枚使用)[ユーザー定義ラベル]	32
4	旧プリンタードライバ アンインストール手順	35
1)	アンインストールファイルの格納場所	35
2)	アンインストール	36

MEMO 欄

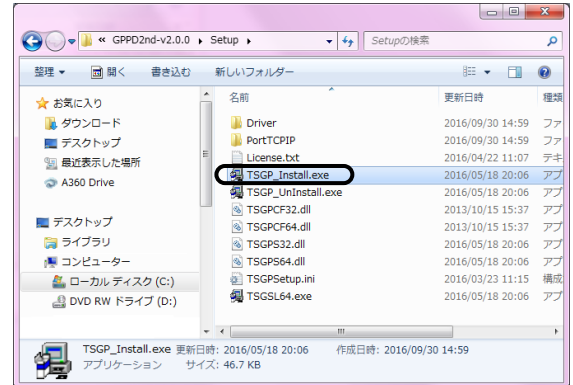
3) プリンタードライバーインストール

- ① インストールを開始する前に、パソコンで他に起動しているアプリケーションはすべて閉じてください。
また、他のプリンターが接続されている場合は、印刷中のドキュメントはすべて終了してください。

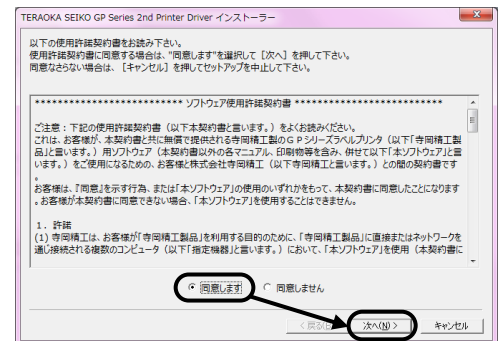
- ② エクスプローラー画面を表示します。

※これ以降の画面表示は、「Windows 7」で説明します。

- ③ C ドライブ → GPPD2nd-v2.0.0 → Setup とフォルダを開きます。
④ TSGP_Install.exe をダブルクリックします。



- ⑤ 「使用許諾契約書」ウィンドウを表示します。
⑥ 画面下中央、「同意します」にチェック印を付け、「次へ>」をクリックします。



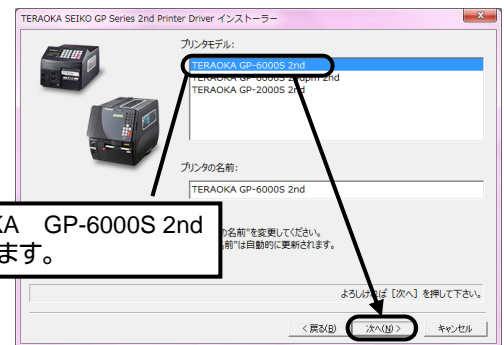
- ⑦ 「プリンタードライバーセットアップ」ウィンドウを表示します。
⑧ 次へ> をクリックします。



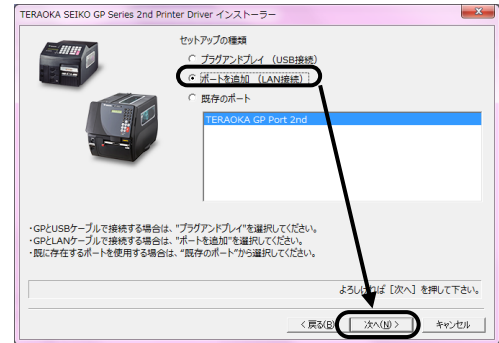
- ⑨ 「プリンターモデル」ウィンドウを表示します。
⑩ TERAOKA GP-6000S 2nd を選択し、次へ> をクリックします。

※複数台 GP を接続する場合、プリンター名称が重複しない様に
違う名称に変更してください。

TERAOKA GP-6000S 2nd
を選択します。



- ⑪ 「セットアップの種類」ウィンドウを表示します。
⑫ 「ポートを追加(LAN 接続)」にチェック印を付け、**次へ>**をクリックします。



- ⑬ 「確認」ウィンドウを表示します。
⑭ 「プリンタドライバ」、「新しいポート」に相違が無いか確認します。
問題がなければ、**完了**をクリックします。

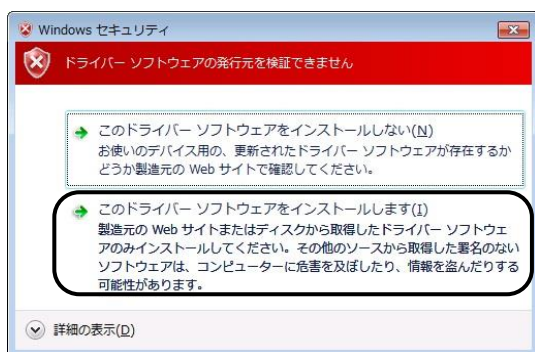


- ⑮ 「ポート名・IP アドレス変更」ウィンドウを表示します。
GP の IP アドレスを入力し、**OK**をクリックします。
※GP の IP アドレスの確認方法は、『 7)GP 側アドレス確認、設定(複数台接続時は台数分実施) (P.13)』を参照してください。

ポート番号は
変更しないでください



- ⑯ 「確認」ウィンドウを表示します。
このドライバーソフトウェアをインストールします または、**インストール**をクリックします。



Windows Vista



Windows 7・Windows 10

- ⑰ 「セットアップ完了」ウィンドウを表示します。
⑱ **完了**をクリックします。

※複数台接続する時は、『 3) プリンタードライバーインストール』(P.4) から、実施してください。



4) PC-GP 接続手順(1 台接続時)

※この接続手順は PC が LAN 接続できる環境時(LAN 端子が付いている)場合の手順です。

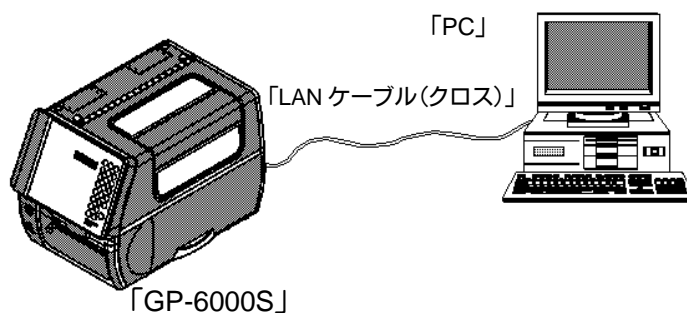
LAN 端子が付いてない PC の場合はボード等を追加して LAN 接続ができる環境にしてください。

ボード等を追加して LAN 環境に設定した場合、市販品を使用するため、セットアップは付属の取扱説明書を参照し、セットアップを行ってください。

※製品には LAN ケーブルが付属していませんので、市販の LAN ケーブルを購入し接続してください。

また、ケーブル種類を間違えると正常に通信できません。

1. 接続レイアウト



2. 接続手順

- ① PC 後面の LAN 端子に LAN ケーブル(クロスケーブル)を挿します。(写真の PC は DELL 社製 GX-150)

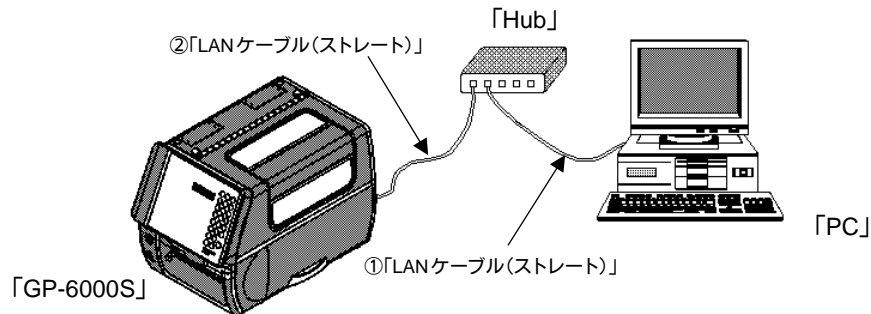


- ② GP 背面側の LAN 端子に PC に挿した LAN ケーブルの反対側(クロスケーブル)を挿します。



5) PC-GP 接続手順(複数台接続時)

1. 接続レイアウト



2. 接続手順

※LAN ケーブルの差し間違いに注意してください。

間違って LAN ケーブルを挿すと、PC と GP の接続はできません。

① PC 後面の LAN 端子に「①LAN ケーブル(ストレート)」を挿します。



(写真の PC は DELL 社製 GX-150)

② GP 背面側の LAN 端子に、「②LAN ケーブル(ストレート)」を挿します。



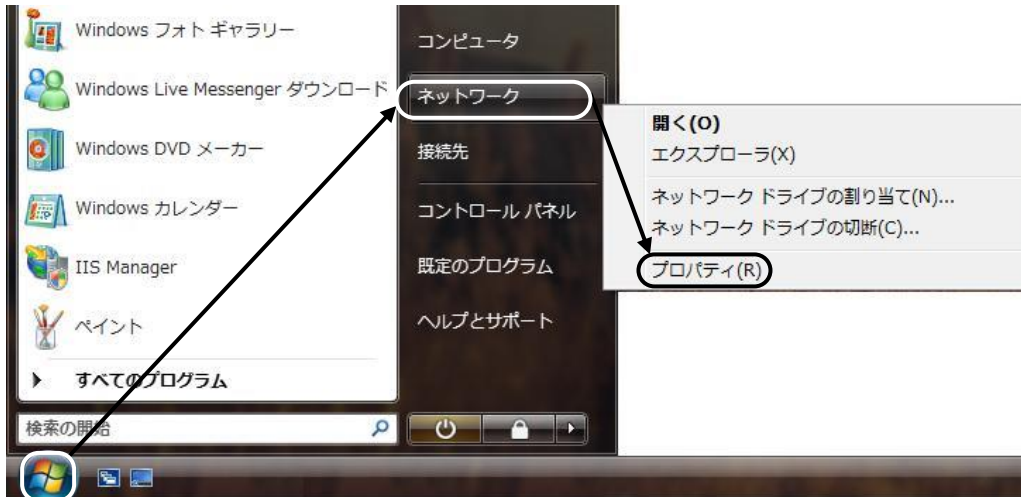
③ HUB に、①LAN ケーブルと②LAN ケーブルの反対側を挿します。



6) PC 側アドレス確認、設定

1. Windows Vista 使用時

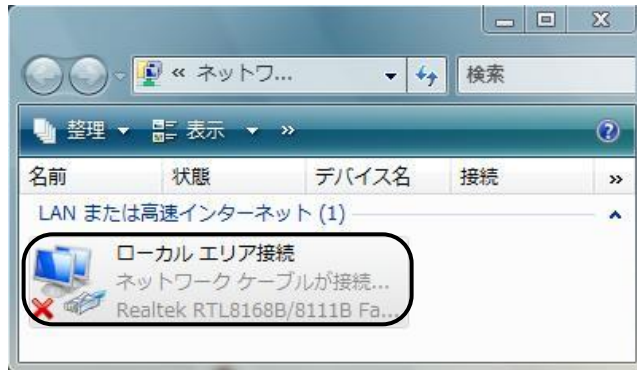
- ① Windows のデスクトップ画面にて、画面左下の  をクリックし、**ネットワーク**→**プロパティ**の順にクリックします。



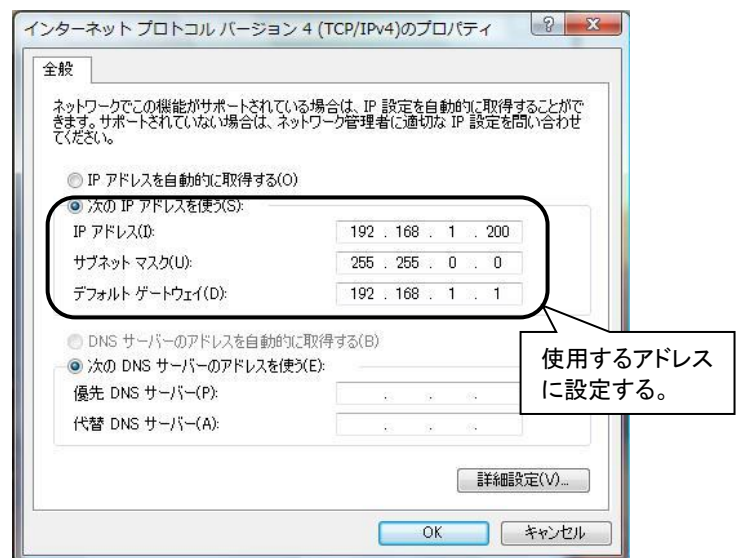
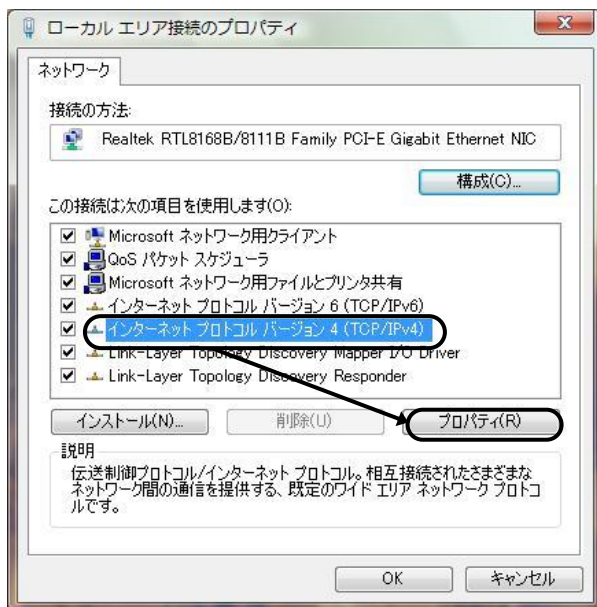
- ② 「ネットワークのプロパティ」ウィンドウを表示します。
③ **ネットワーク接続の管理**をクリックします。




- ④ 「ネットワーク接続の管理」ウィンドウを表示します。
- ⑤ **ローカルエリア接続** をクリックすると、「ユーザーアカウント」ウィンドウが表示します。
※PC によってはローカルエリア接続 2 や 3 になっている場合があります。
- ⑥ **続行** をクリックします。

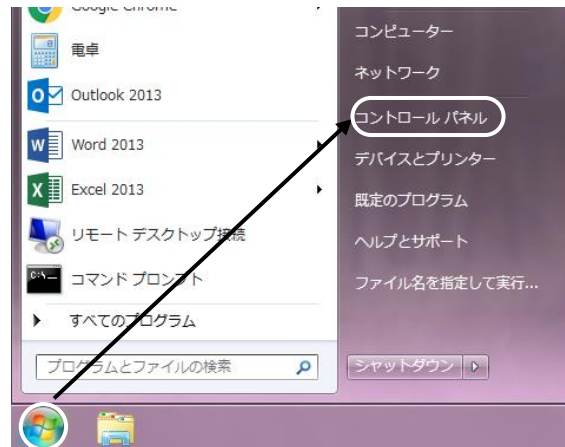


- ⑦ 「ローカルエリア接続のプロパティ」ウィンドウを表示します。
- ⑧ **インターネットプロトコルバージョン 4(TCP/IPv4)** を選択し、**プロパティ** をクリックします。
- ⑨ 「インターネットプロトコルバージョン 4(TCP/IPv4)のプロパティ」ウィンドウを表示します。
- ⑩ 「IP アドレス」、「サブネットマスク」、「ゲートウェイ」を確認・設定を実施します。

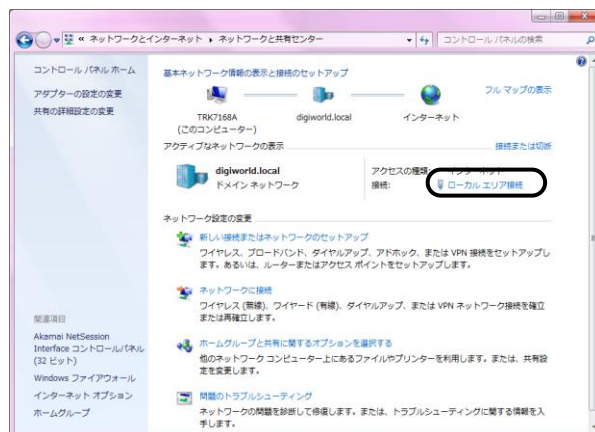


2. Windows 7 使用時

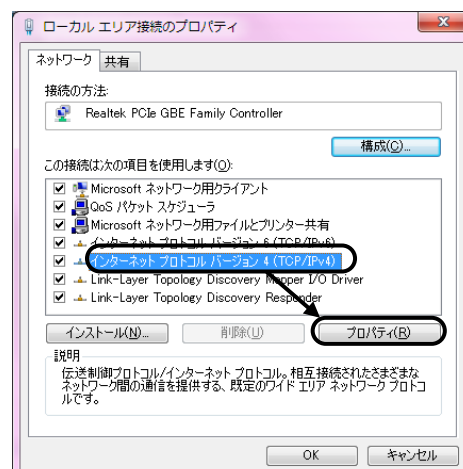
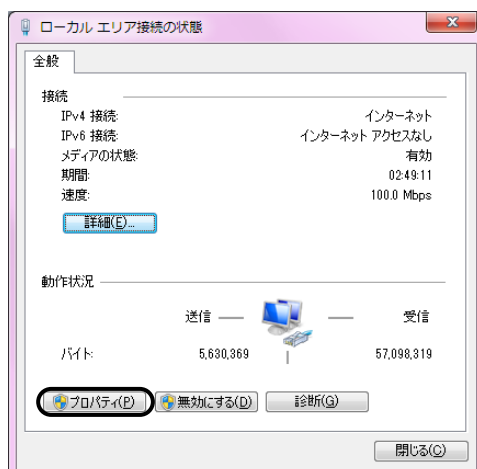
- ① Windows デスクトップ画面にて、 → **コントロールパネル** をクリックします。



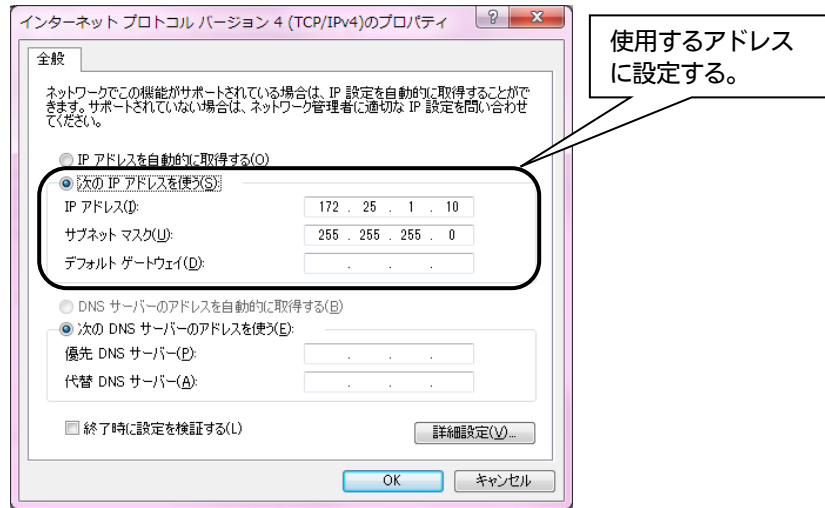
- ② 「コントロールパネルウィンドウ」を表示します。
③ **ネットワークの状態とタスクの表示** をダブルクリックします。
④ 「ネットワークと共有センターウィンドウ」を表示します。
⑤ **ローカルエリア接続** をクリックします。
※PC によってはローカルエリア接続 2 や 3 になっている場合があります。



- ⑥ 「ローカルエリアの状態」ウィンドウを表示します。
⑦ **プロパティ** をクリックします。
⑧ 「ローカルエリア接続のプロパティ」ウィンドウを表示します。
⑨ **インターネットプロトコルバージョン 4(TCP/IPv4)** を選択し、**プロパティ** をクリックします。

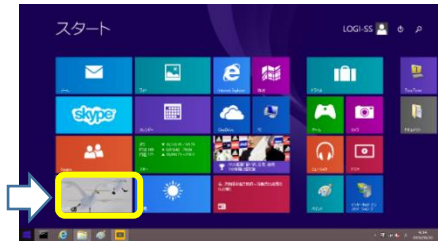



- ⑩ 「インターネットプロトコルバージョン 4(TCP/IPv4)のプロパティ」ウィンドウを表示します。
- ⑪ 「IP アドレス」、「サブネットマスク」、「ゲートウェイ」を確認・設定を実施します。



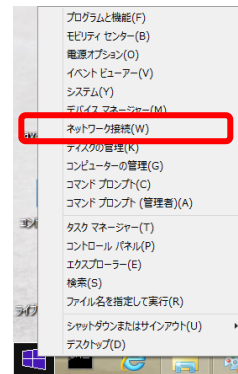
3. Windows 8・Windows 10 使用時

- ① Windows8 スタート画面から、デスクトップアイコンをクリックし、デスクトップ画面を表示します。
Windows10 の場合は、②へ進みます。



- ② デスクトップ画面にて画面左下の  を右クリックし、**ネットワーク接続** をクリックします。

※画面説明は、「Windows 10」を使用しています。

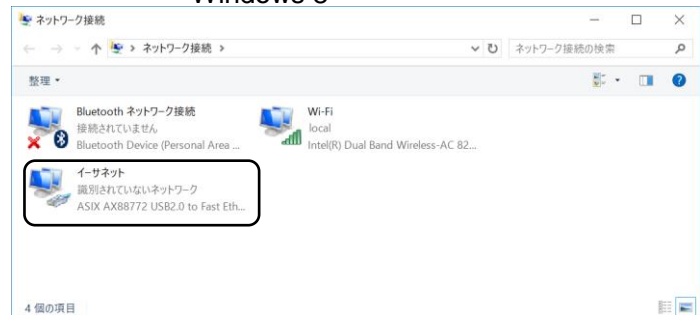


Windows 8

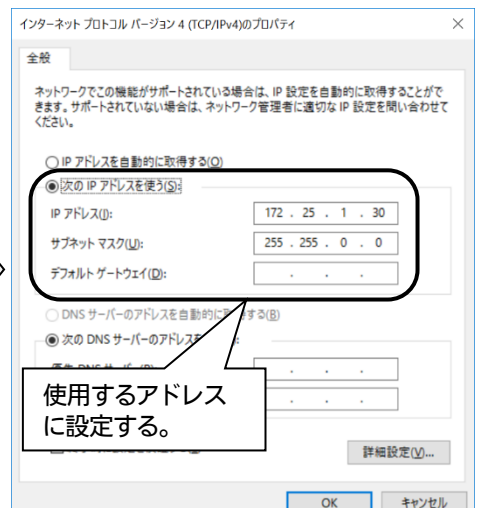
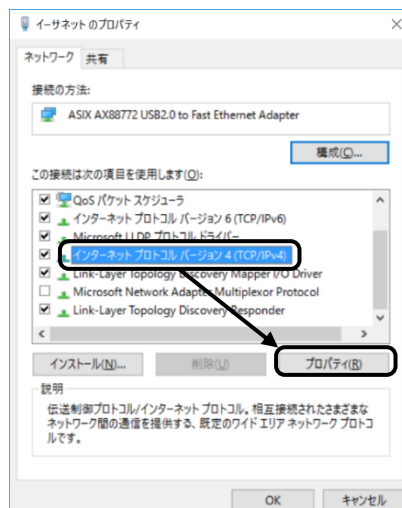
Windows 10

- ③ 「ネットワーク接続」ウィンドウを表示します。

- ④ **イーサネット** をダブルクリックします。
※PC によってはイーサネット 2 や 3 になっている場合があります。

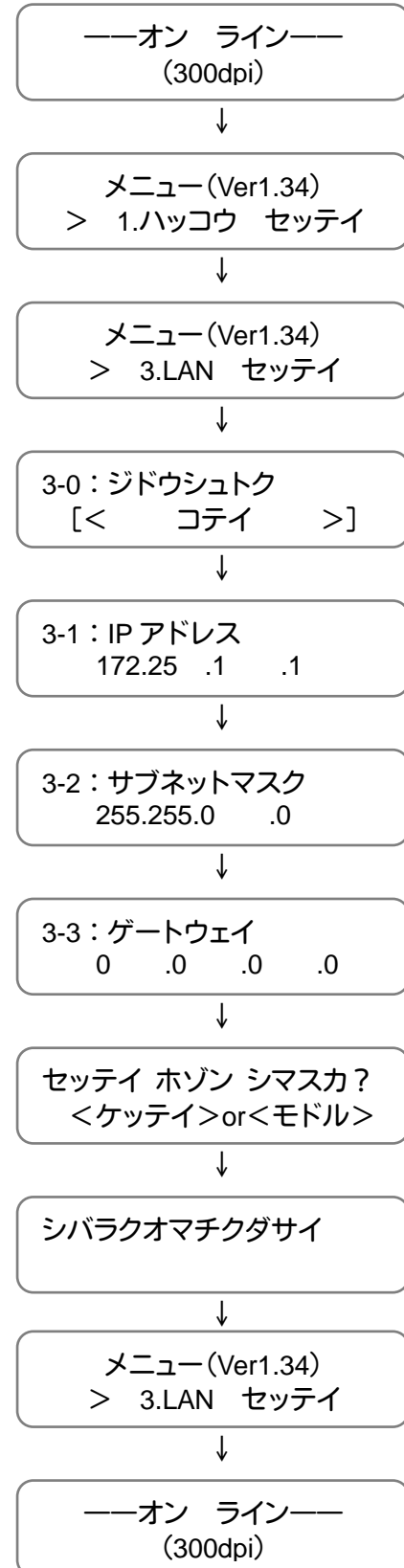


- ⑤ 「イーサネットの状態」ウィンドウを表示します。
⑥ **プロパティ** をクリックします。
⑦ 「イーサネットのプロパティ」ウィンドウを表示します。
⑧ **インターネットプロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4)** を選択し、**プロパティ** をクリックします。
⑨ 「インターネットプロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4) のプロパティ」ウィンドウを表示します。
⑩ 「IP アドレス」、「サブネットマスク」、「ゲートウェイ」を確認・設定し、**OK** をクリックします。



7) GP 側アドレス確認、設定(複数台接続時は台数分実施)

- ① GP の電源を入れます。
- ② オンライン画面を表示します。
- ③ メニュー キーを押します。
- ④ メニュー画面を表示します。
- ⑤ ▽ キーを 2 回押します。
- ⑥ LAN 設定画面を表示します。
- ⑦ 決定 キーを押します。
- ⑧ IP アドレス自動取得画面を表示します。
- ⑨ ▽ キーを 1 回押します。
- ⑩ IP アドレス入力画面を表示します。
- ⑪ IP アドレスを入力し、▽ キーを 1 回押します。
- ⑫ サブネットマスク画面を表示します。
- ⑬ サブネットマスクを入力し、▽ キーを 1 回押します。
- ⑭ ゲートウェイ画面を表示します。
- ⑮ ゲートウェイを入力後、決定 キーを押します。
- ⑯ 設定保存確認画面を表示します。
- ⑰ 決定 キーを押します。
- ⑱ 「シバラクオマチクダサイ」とメッセージを表示し、LAN 設定画面に戻ります。
- ⑲ オンライン キーを押します。
- ⑳ オンライン画面に戻ります。




※複数台ある場合は、1 台ずつ①～⑳を繰り返し、設定します。

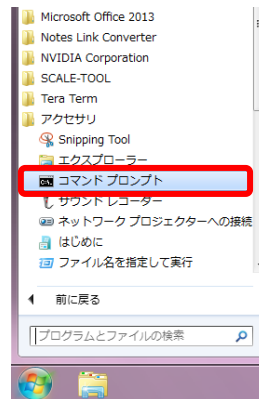
8) LAN 接続確認

【Windows Vista・Windows 7】

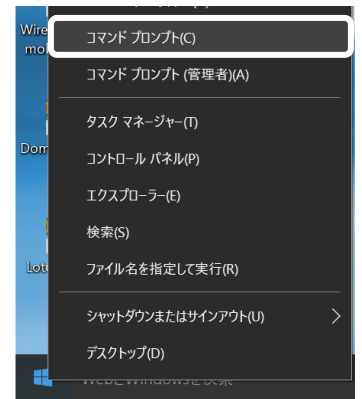
- ① デスクトップ画面で  → **すべてのプログラム** → **アクセサリ** → **コマンドプロンプト** をダブルクリックします。

【Windows 8・Windows 10】

- ① デスクトップ画面にて画面左下の  を右クリックし、**コマンドプロンプト** をクリックします。



Windows 7



Windows 10

- ② コマンドプロンプトの画面を表示します。
以下のコマンドを入力し、**Enter** を押してください。

コマンド ping△XXX.XXX.XXX.XXX **Enter**
GP 側 IP アドレス

△=スペース

<交信 OK の場合>

【Windows Vista】

Reply from XXX.XXX.XXX.XXX bytes=XX times=XXms TTL=XXX
GP 側 IP アドレス

器物によって数値が変わります。

【Windows 7・Windows 8・Windows 10】

XXX.XXX.XXX.XXX からの応答: バイト数=XX 時間=XXms TTL=XXX

```
C:\Documents and Settings\TRITON>ping 172.23.7.2

Pinging 172.23.7.2 with 32 bytes of data:

Reply from 172.23.7.2: bytes=32 time<10ms TTL=32
Reply from 172.23.7.2: bytes=32 time<10ms TTL=32
Reply from 172.23.7.2: bytes=32 time<10ms TTL=32
Reply from 172.23.7.2: bytes=32 time<10ms TTL=32

Ping statistics for 172.23.7.2:
    Packets: Sent = 4, Received = 4, Lost = 0 (0% loss),
    Approximate round trip times in milli-seconds:
        Minimum = 0ms, Maximum = 0ms, Average = 0ms

C:\Documents and Settings\TRITON>
```

Windows Vista

```
C:\Users>ping 172.25.1.1

172.25.1.1 に ping を送信しています 32 バイトのデータ:
172.25.1.1 からの応答: バイト数 =32 時間 =2ms TTL=128
172.25.1.1 からの応答: バイト数 =32 時間 =1ms TTL=128
172.25.1.1 からの応答: バイト数 =32 時間 =1ms TTL=128
172.25.1.1 からの応答: バイト数 =32 時間 =1ms TTL=128

172.25.1.1 の ping 統計:
    パケット数: 送信 = 4, 受信 = 4, 損失 = 0 (0% の損失)、
    ラウンドトリップの概算時間 (ミリ秒):
        最小 = 1ms、最大 = 2ms、平均 = 1ms

C:\Users>
```

Windows 7・Windows 8・Windows 10

<交信 NG の場合>

「Request timed out」「要求がタイムアウトしました」または「Destination host unreachable」「宛先ホストに到達できません」とエラー表示


- ・「Request timed out」/「要求がタイムアウトしました」の場合
PC・GP 側 LAN の設定を確認してください。
- ・「Destination host unreachable」/「宛先ホストに到達できません」の場合
ハード的な要因のため、ケーブルや基板を交換してください。

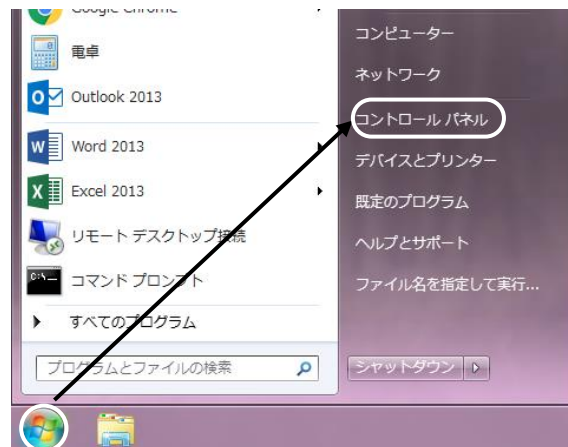
9) Windows ファイアウォール例外設定

注意)市販のセキュリティソフトによっては、通信がブロックされることがあります。

対象ソフトの取扱説明書を参照して、この項目の設定と同様に例外の設定を実施する必要があります。

1. Windows Vista 使用時

- ① Windows デスクトップ画面にて、 →
コントロールパネルの順にクリックします。



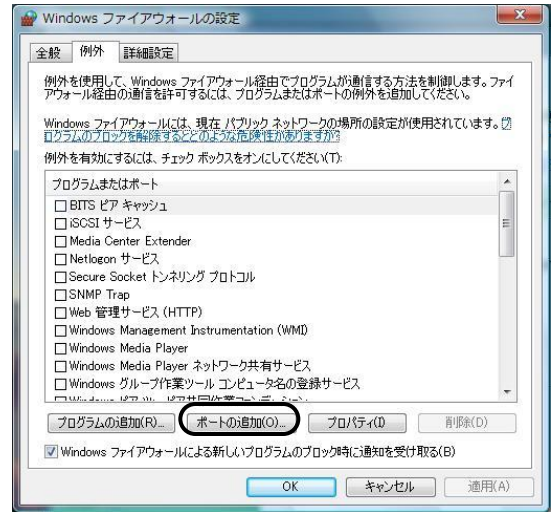
- ② 「コントロールパネル」ウィンドウを表示します。
③ **Windows ファイアウォールによるプログラムの許可**をクリックします。



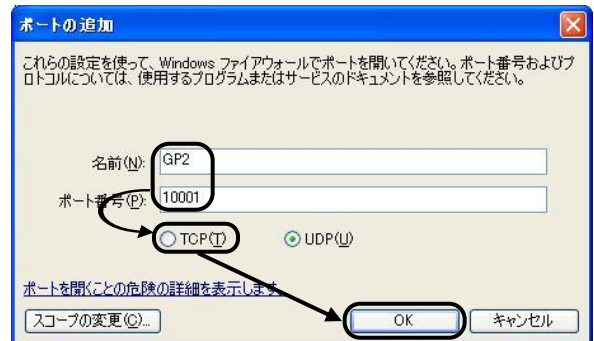
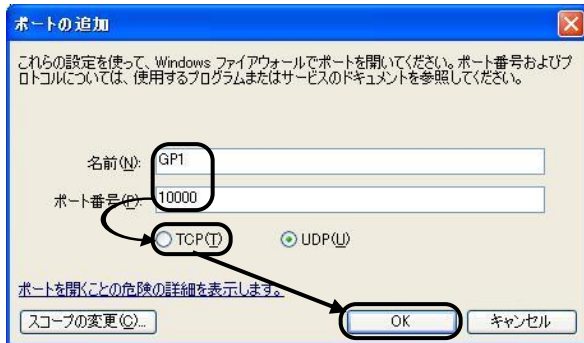
※パソコンの設定により、「ユーザーアカウント制御」ウィンドウを表示する場合があります。
続行をクリックし、インストールを進めてください。



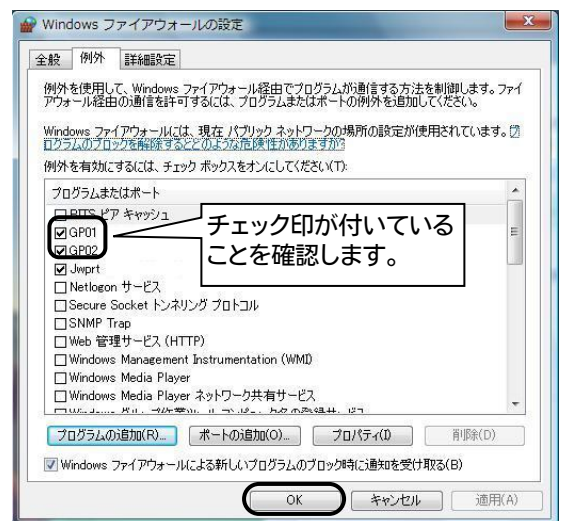
- ④ 「Windows ファイアウォールの設定」ウィンドウが開きます。
- ⑤ 「例外」のタブをクリックします。
- ⑥ **ポートの追加** をクリックします。



- ⑦ 「ポートの追加」ウィンドウを表示します。
- ⑧ GP1 と GP2 のポートを追加します。
- ⑨ 名前項目に GP1、ポート番号を 10000、TCP にチェックを付けて **OK** をクリックします。
- ⑩ Windows ファイアウォールの設定に戻ります。
- ⑪ 名前項目に GP2、ポート番号を 10001、TCP にチェックを付けて **OK** をクリックします。




- ⑫ 「Windows ファイアウォールの設定」ウィンドウに戻ります。
- ⑬ プログラムまたはポート項目に「GP1」「GP2」の項目があり、チェック印が付いていることを確認します。
- ⑭ **OK** をクリックして、設定完了です。

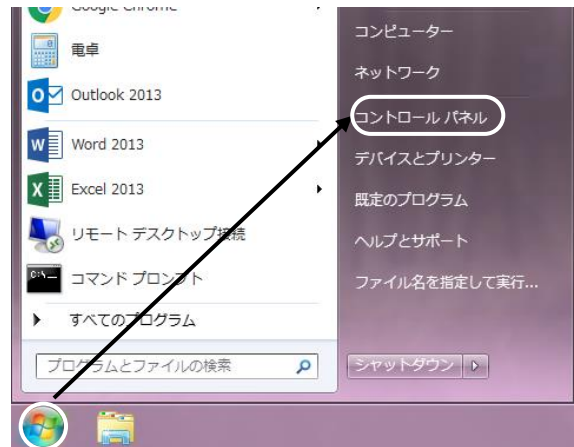


2. Windows 7・Windows 8・Windows 10 使用時


【Windows 7】

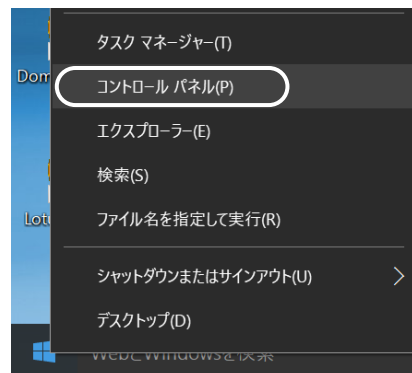
- ① Windows デスクトップ画面にて、 → **コントロールパネル** の順にクリックします。

②へ進みます。



【Windows 8・Windows 10】

- ① デスクトップ画面にて、画面左下の  を右クリックし、**コントロールパネル** をクリックします



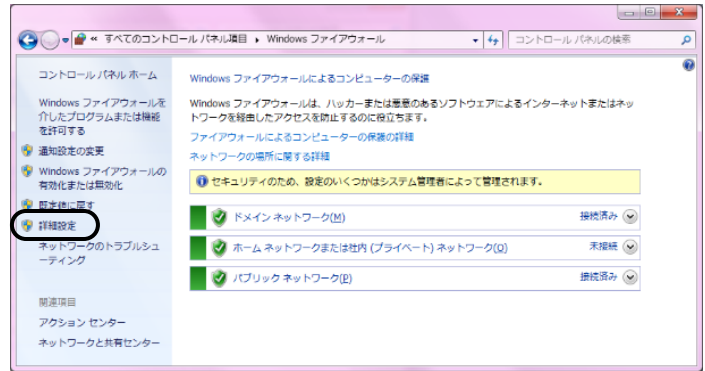
- ② 「コントロールパネル」ウィンドウを表示します。
③ **システムとセキュリティ** をクリックします。



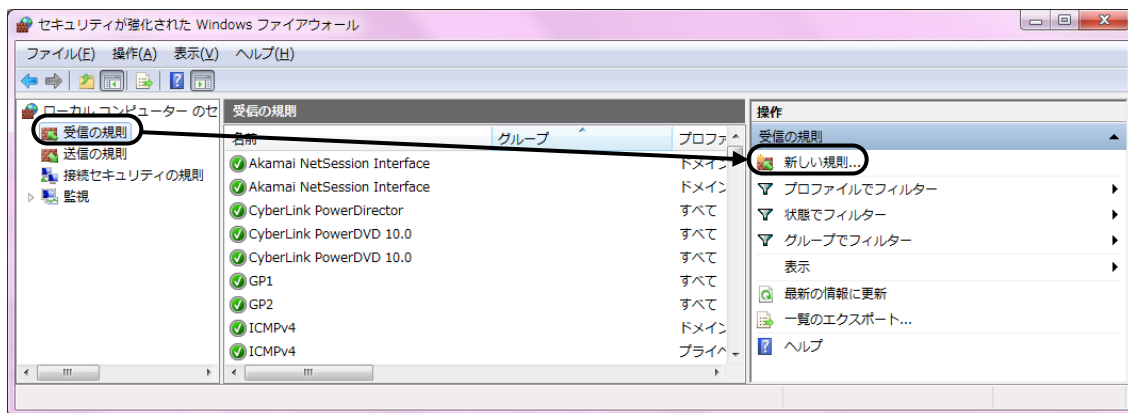
- ④ 「システムとセキュリティ」ウィンドウを表示します。
⑤ **ファイアウォールの状態の確認** をクリックします。



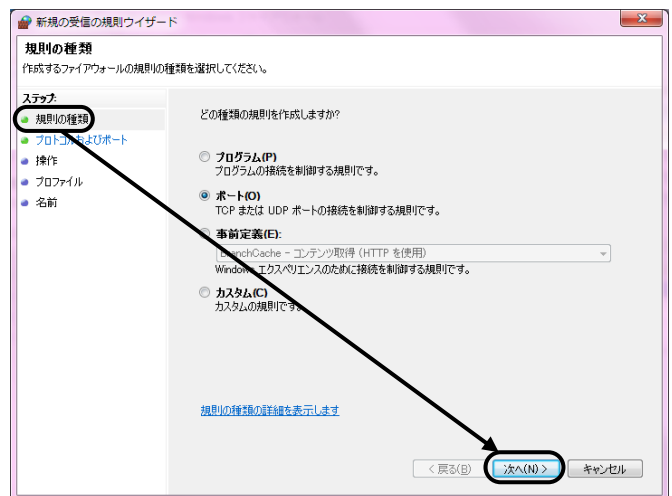
- ⑥ 「Windows ファイアウォール」ウィンドウを表示します。
- ⑦ **詳細設定** をクリックします。



- ⑧ 「セキュリティが強化された Windows ファイアウォール」ウィンドウを表示します。
- ⑨ **受信の規則** を選択し、**新しい規則** をクリックします。



- ⑩ 「新規の受信の規則ウィザード」ウィンドウを表示します。
- 規則の種類を設定します。
 - 「ポート」を選択し、**次へ>** をクリックします。



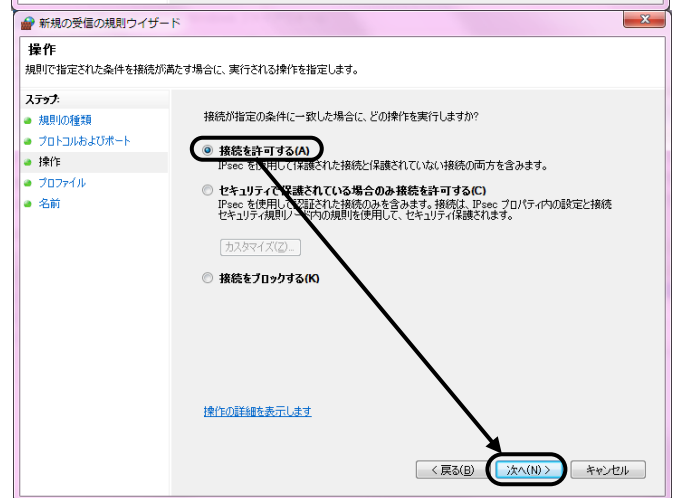
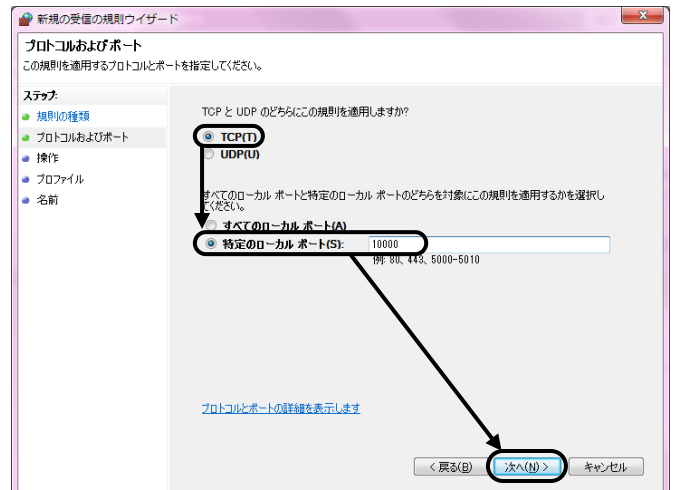
- iii. プロトコル及びポートを設定します。
- iv. 「TCP」を選択し、特定のローカルポートを選択します。
- v. ポート番号に「10000」を入力し、**次へ>**をクリックします。

GP1 ポート番号：10000～10001(TCP)
GP2 ポート番号：10000～10001(UDP)

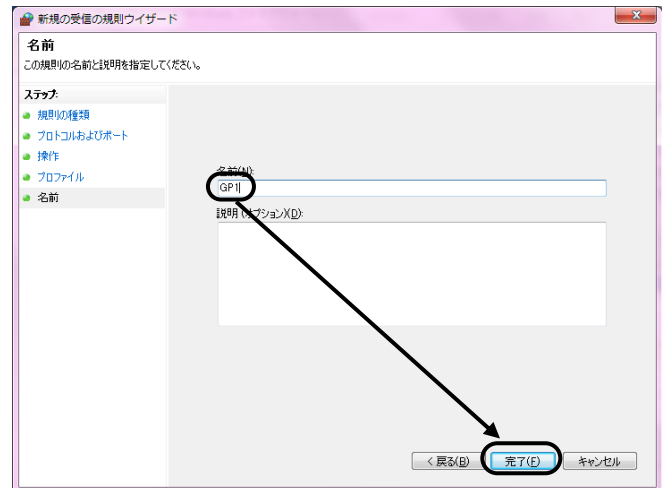
- vi. 操作を設定します。
- vii. 「接続を許可する」を選択し、**次へ>**をクリックします。

- viii. プロファイルを設定します。
- ix. 「ドメイン」、「プライベート」、「パブリック」のすべてを選択し、**次へ>**をクリックします。

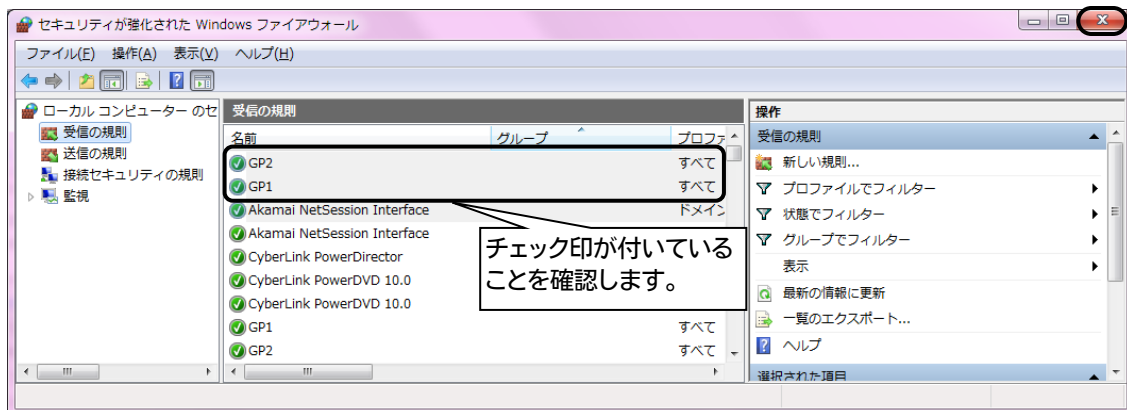
※Home Premium Editionにはドメインの項目がありません。



- x. 名前を設定します。
- xi. 名前項目欄に「GP1」と入力し、**完了**をクリックします。




- ⑪ 「GP1」の受信規則が作成され、「セキュリティが強化された Windows ファイアウォール」ウィンドウに戻ります。
- ⑫ 「GP2」の受信規則を作成します。
ポート番号：「10000～10001 (UDP)」 名前：「GP2」
再度、⑨～⑩の手順を実施します。
- ⑬ 「GP2」の受信規則が作成され、「セキュリティが強化された Windows ファイアウォール」ウィンドウに戻ります。
- ⑭ 受信の規則項目一覧に「GP1」「GP2」の項目があり、チェック印が付いていることを確認します。
- ⑮ 作成を終了します。
xをクリックし、各ウィンドウを閉じます。

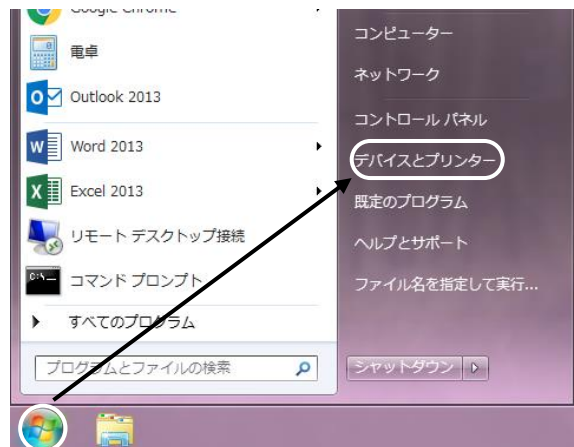


10) 接続動作確認


【Windows Vista・Windows 7】

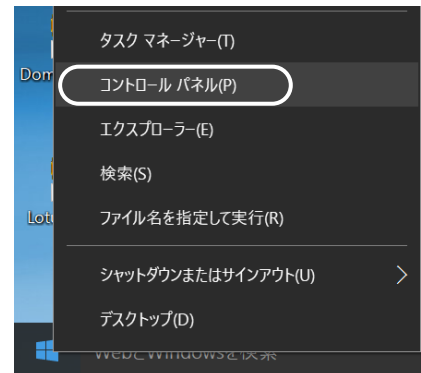
- ① Windows デスクトップ画面にて、 →
デバイスとプリンター の順にクリックします。

④へ進みます。



【Windows 8・Windows 10】

- ① デスクトップ画面にて、画面左下の  を右クリックし、
コントロールパネル をクリックします

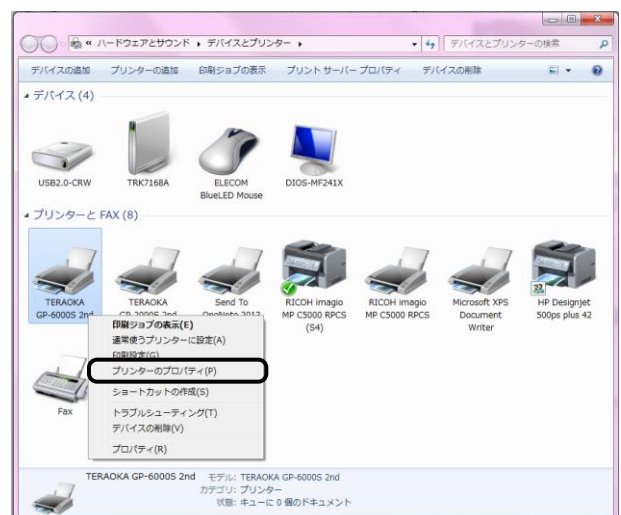


- ② 「コントロールパネル」ウィンドウを表示します。
③ **デバイスとプリンターの表示** をクリックします。

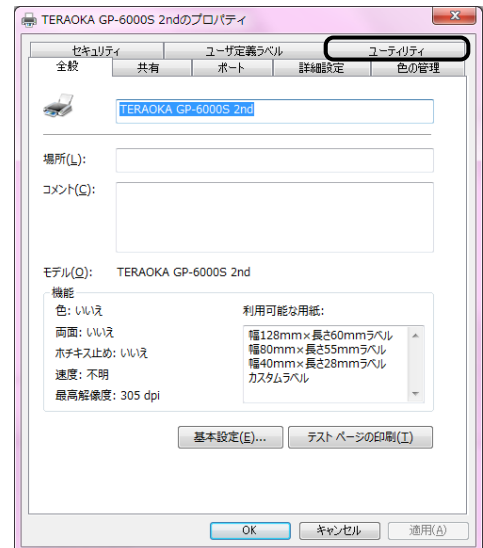
※これ以降の画面表示は、「Windows 7」で説明します。



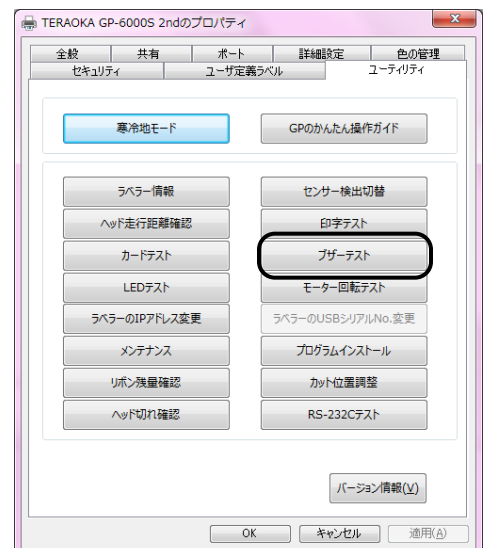
- ④ 「デバイスとプリンター」ウィンドウを表示します。
⑤ 『3) プリンタードライバのインストール』の項目で、インストールした、「TERAOKA GP-6000S 2nd」を右クリックし、**プリンターのプロパティ** をクリックします。



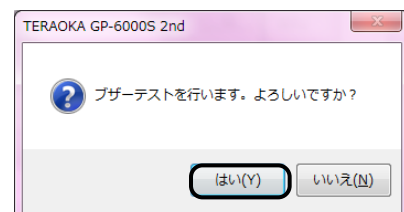
- ⑥ 「TERAOKA GP-6000S 2nd のプロパティ」ウィンドウを表示します。
- ⑦ **ユーティリティ** のタブをクリックします。



- ⑧ 「ユーティリティ」ウィンドウを表示します。
- ⑨ GP のブザーが鳴るかを確認します。
ブザーテスト をクリックしてください。



- ⑩ 「ブザーテスト確認」ウィンドウを表示します。
- ⑪ **はい** をクリックしてください。
ブザーが鳴れば、GP との接続は OK です。
ブザーが鳴らない場合は、正しく接続ができていないため、再度設定を確認してください。



11) セットアップ後の GP 側アドレス変更手順

※本手順はセットアップ後に GP の IP アドレスを変更したい時に実施する手順となります。


(全く異なるアドレスに変更する場合は GP のアドレスを変更後、『6)PC 側アドレス確認、設定(P.8)』を参照して、PC 側のアドレスも変更してください。)

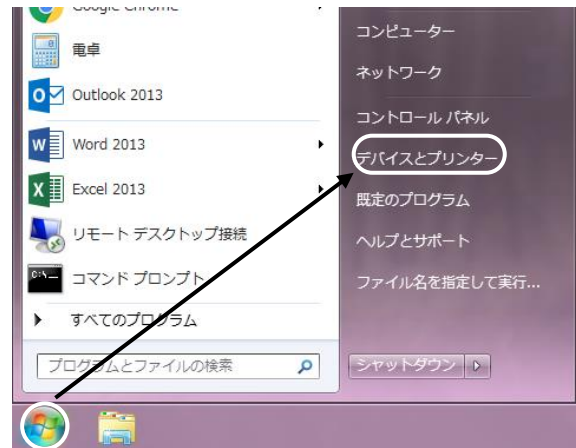
1. GP 側にて直接変更する時

- ① 『7)GP 側アドレス確認、設定(複数台接続時は台数分実施)(P.13)』を参照し、GP 側の IP アドレスを変更します。


例)IP アドレス：172.25.1.1 から、172.25.1.2 に変更。

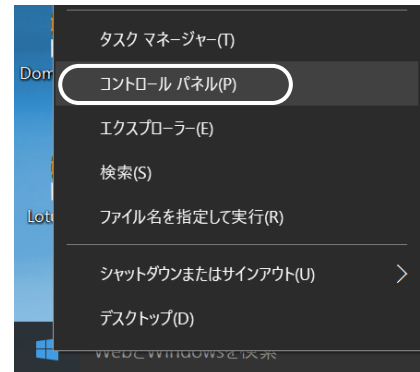
【Windows Vista・Windows 7】

- ② Windows デスクトップ画面にて、 → **デバイスとプリンター** の順にクリックします。
⑤へ進みます。



【Windows 8・Windows 10】

- ② デスクトップ画面にて、画面左下の  を右クリックし、**コントロールパネル** をクリックします

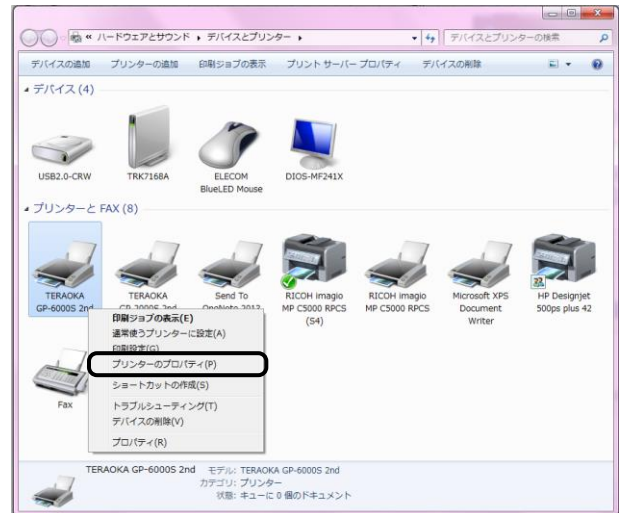


- ③ 「コントロールパネル」ウィンドウを表示します。
- ④ **デバイスとプリンターの表示** をクリックします。

※これ以降の画面表示は、「Windows 7」で説明します。



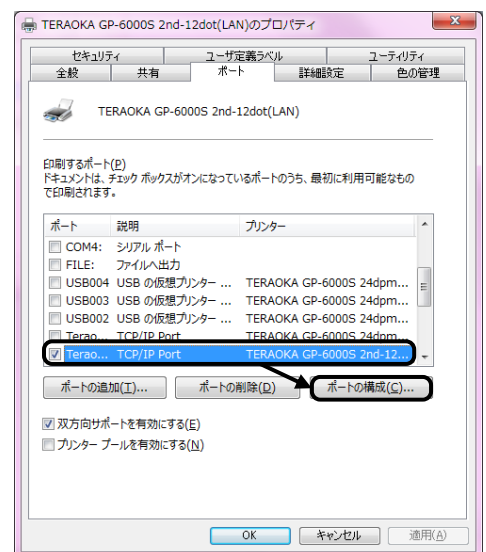
- ⑤ 「デバイスとプリンター」ウィンドウを表示します。
- ⑥ 『3)プリンタードライバのインストール(P.4)』の項目で、インストールした、「TERAOKA GP-6000S 2nd-12dot (LAN)」を右クリックし、「プリンターのプロパティ」をクリックします。



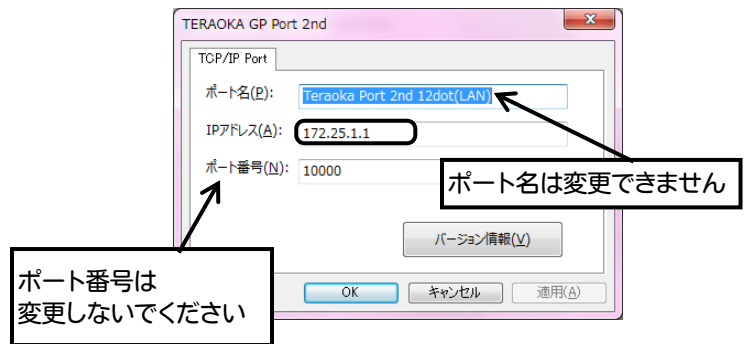
- ⑦ 「TERAOKA GP-6000S 2nd-12dot (LAN)のプロパティ」ウィンドウを表示します。
- ⑧ 「ポート」のタブをクリックします。



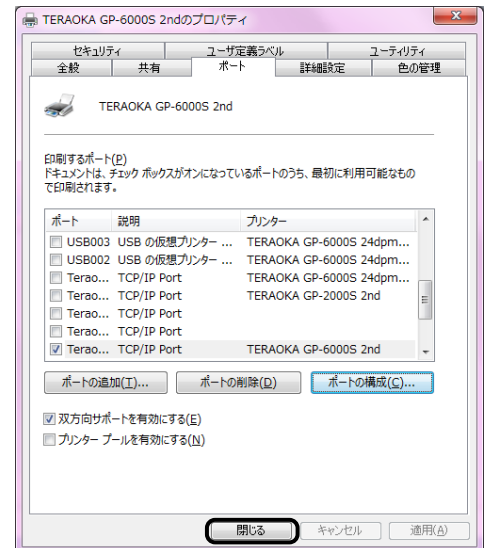
- ⑨ 「ポート」ウィンドウを表示します。
- ⑩ 「TERAOKA GP-6000S 2nd-12dot (LAN)」を選択し、「ポートの構成」をクリックします。



- ⑪ 「TCP/IP Port」ウィンドウを表示します。
- ⑫ ⑪の手順で変更した IP アドレスに変更します。
※IP アドレスのみ変更します。
- ⑬ **適用** をクリックし、**OK** をクリックします。




- ⑭ 「ポート」ウィンドウに戻ります。
- ⑮ **OK** をクリックし、設定完了です。



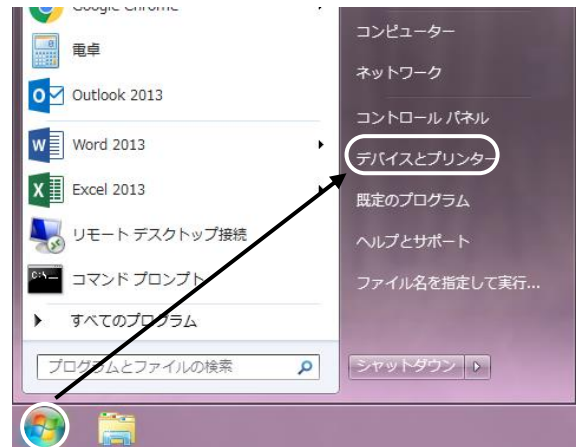
2. ドライバーのユーティリティにて変更する時

- ① GP の電源を入れます。
- ② オンライン画面を表示します。


【Windows Vista・Windows 7】

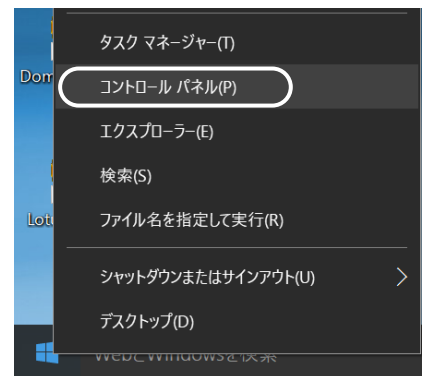
- ③ Windows デスクトップ画面にて、 → **デバイスとプリンター** の順にクリックします。
⑥へ進みます。

——オン ライン——
(300dpi)



【Windows 8・Windows 10】

- ③ デスクトップ画面にて、画面左下の  を右クリックし、**コントロールパネル** をクリックします

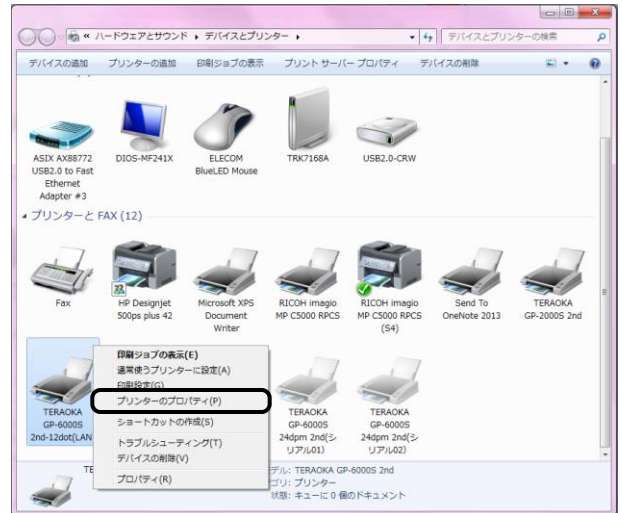


- ④ 「コントロールパネル」ウィンドウを表示します。
- ⑤ **デバイスとプリンターの表示** をクリックします。

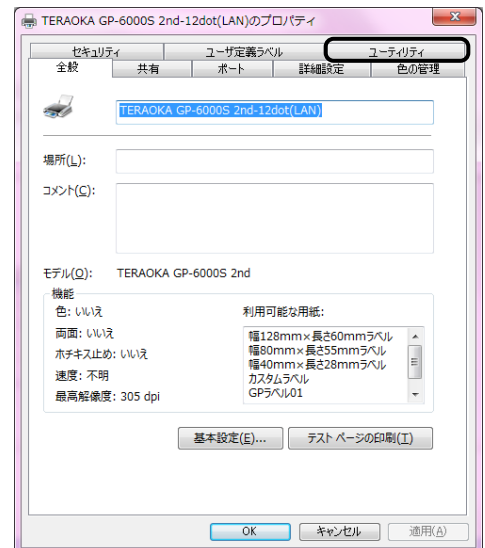
※これ以降の画面表示は、「Windows 7」で説明します。



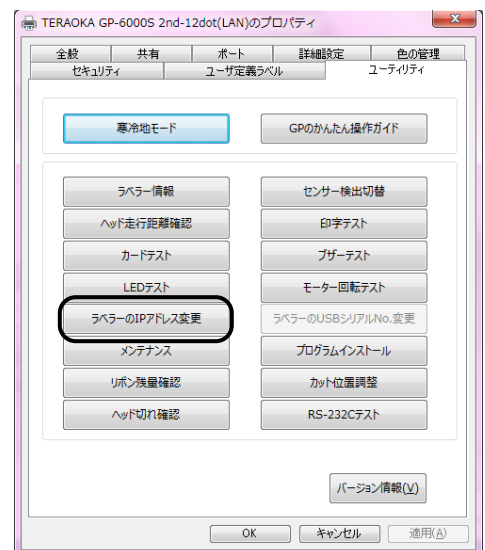
- ⑥ 「デバイスとプリンター」ウィンドウを表示します。
⑦ 『3)プリンタードライバのインストール(P.4)』の項目で、インストールした、「TERAOKA GP-6000S 2nd-12dot (LAN)」を右クリックし、「プリンターのプロパティ」をクリックします。



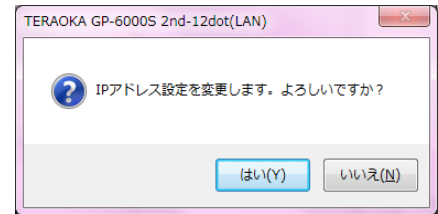
- ⑧ 「TERAOKA GP-6000S 2nd-12dot (LAN)のプロパティ」ウィンドウを表示します。
⑨ 「ユーティリティ」のタブをクリックします。



- ⑩ 「ユーティリティ」ウィンドウを表示します。
⑪ 「ラベラーのIPアドレス変更」をクリックしてください。



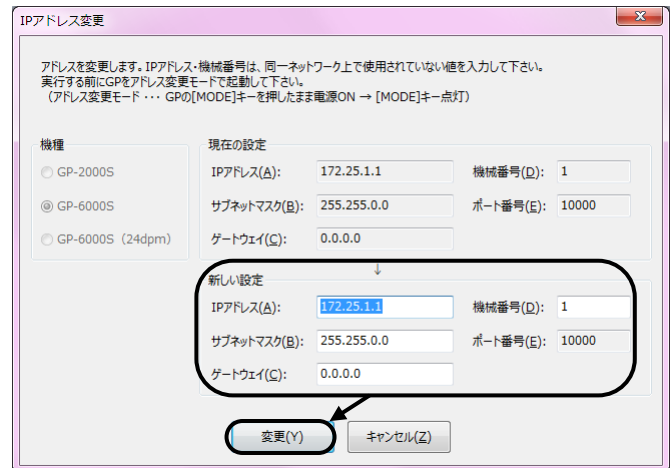
- ⑫ 「IP アドレス変更確認」ウィンドウを表示します。
⑬ はい をクリックします。



- ⑭ 「IP アドレス変更」ウィンドウを表示します。

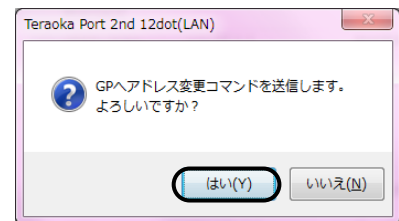
※変更する IP アドレスは、他の GP で使用している
機械番号や他の接続機器で使用している IP アド
レスと重複しないように設定をしてください。

- ⑮ 新しい設定の項目に、変更内容を入力し、変更 を
クリックします。

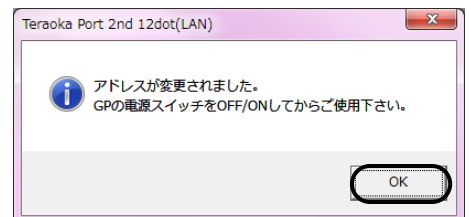


- ⑯ 「アドレス変更確認」ウィンドウを表示します。

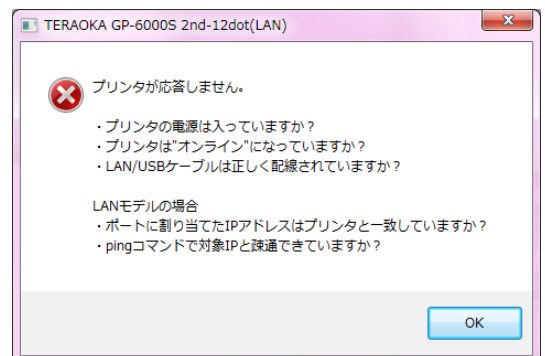
- ⑰ はい をクリックします。
変更コマンドが GP に送信されます。



- ⑱ 「IP アドレス変更終了」ウィンドウを表示します。
⑲ GP の電源 ON/OFF を行い、OK をクリックします。
⑳ 「デバイスとプリンター」ウィンドウに戻りますので、× でウィンドウ
を閉じます。



※GP-6000S がアドレス変更モードでない場合、または GP-6000S
と LAN 接続ができていない場合は、エラーメッセージが表示され
ます。



3 接続セットアップ後設定

1) 設定概要


Windows プリンタードライバーにて、ラベルを発行するために、ラベルレイアウトを作成したアプリケーションと Windows プリンタードライバーに使用するラベルのサイズ(用紙サイズ)や仕様を事前に登録する必要があります。この2つのラベル設定を行っていないと、正常にラベルの発行をすることができません。

次項目に Windows プリンタードライバーでの設定方法を記載いたします。

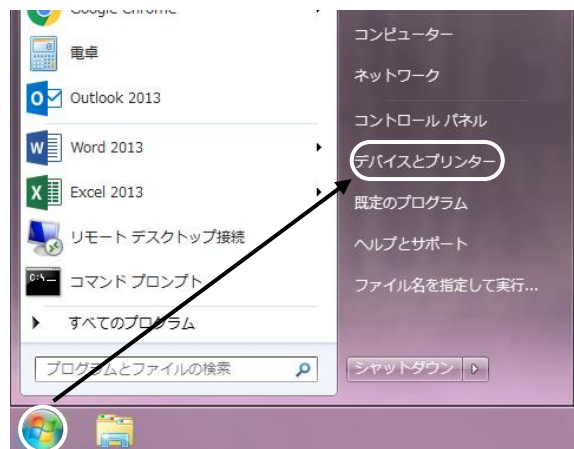
また、使用しているアプリケーションでのラベルサイズ(用紙サイズ)の設定方法は、使用アプリケーションの取扱説明書を参照し設定してください。

2) ラベル仕様設定方法(1 種類のみ使用)


【Windows Vista・Windows 7】

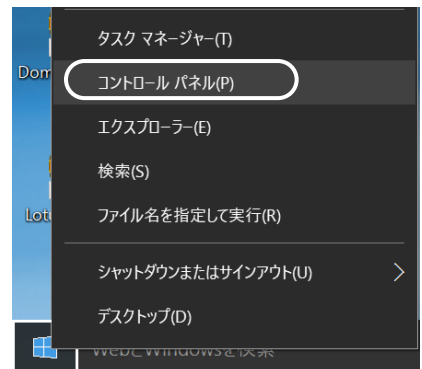
- ① Windows デスクトップ画面にて、 → **デバイスとプリンター** の順にクリックします。

④へ進みます。



【Windows 8・Windows 10】

- ① デスクトップ画面にて、画面左下の  を右クリックし、**コントロールパネル** をクリックします。

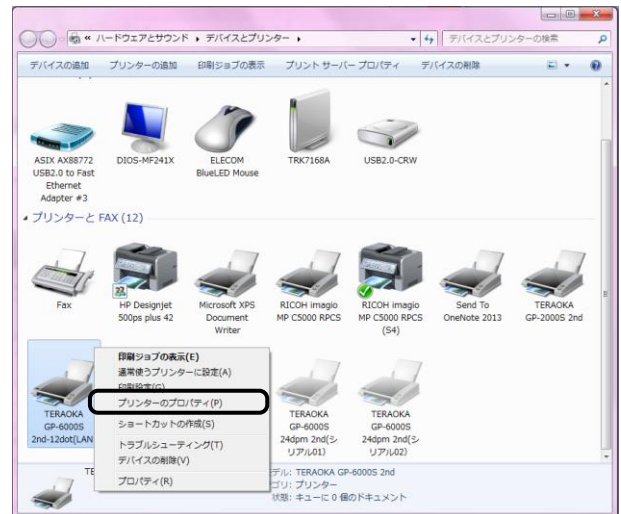


- ② 「コントロールパネル」ウィンドウを表示します。
③ **デバイスとプリンターの表示** をクリックします。

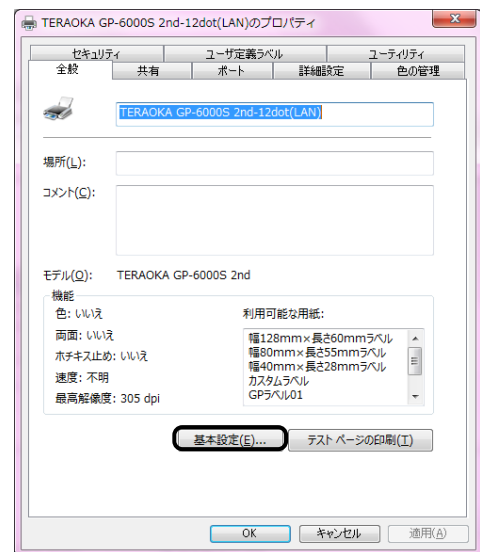
※これ以降の画面表示は、「Windows 7」で説明します。



- ④ 「デバイスとプリンター」 ウィンドウを表示します。
- ⑤ 『 3) プリントードライバーのインストール』の項目で、インストールした、「TERAOKA GP-6000S 2nd-12dot (LAN)」を右クリックし、**プリンターのプロパティ**をクリックします。

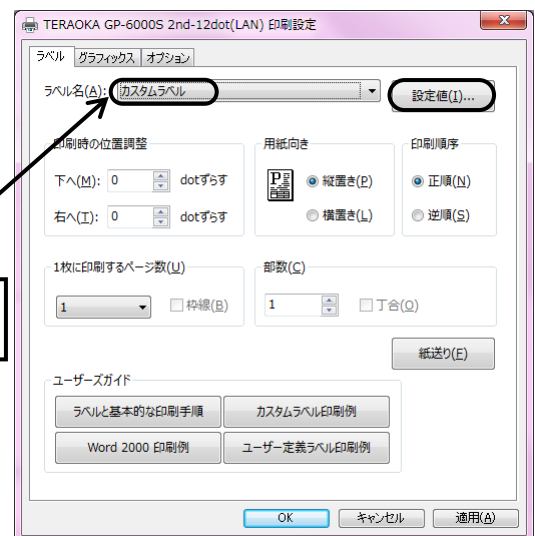


- ⑥ 「TERAOKA GP-6000S 2nd-12dot (LAN) のプロパティ」ウィンドウを表示します。
- ⑦ **基本設定**をクリックします。



- ⑧ 「印刷設定」ウィンドウを表示します。
- ⑨ ラベル名の項目が「カスタムラベル」になっているかの確認をします。
「カスタムラベル」になっていない場合は、項目一覧より選択します。
- ⑩ **設定値**をクリックします。

カスタムラベルになっているか確認する




- ⑪ 「カスタムラベル設定」ウィンドウを表示します。
- ⑫ ラベルのサイズ等、各項目をお客様の仕様に合わせ設定します。
- ⑬ **OK** をクリックします。
設定が完了となります。

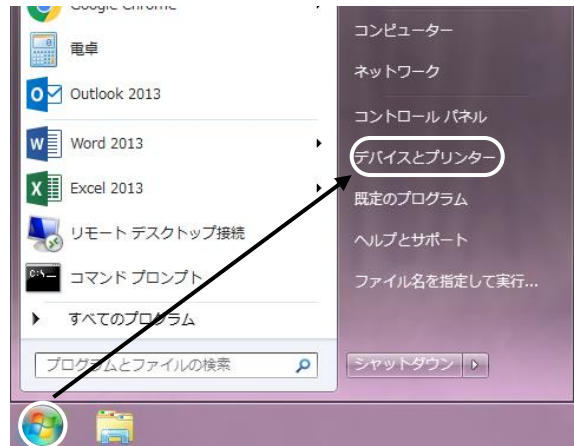


3) ラベル仕様設定方法(複数枚使用)[ユーザー定義ラベル]


【Windows Vista・Windows 7】

- ① Windows デスクトップ画面にて、 → **デバイスとプリンター** の順にクリックします。

④へ進みます。



【Windows 8・Windows 10】

- ① デスクトップ画面にて、画面左下の  を右クリックし、**コントロールパネル** をクリックします。

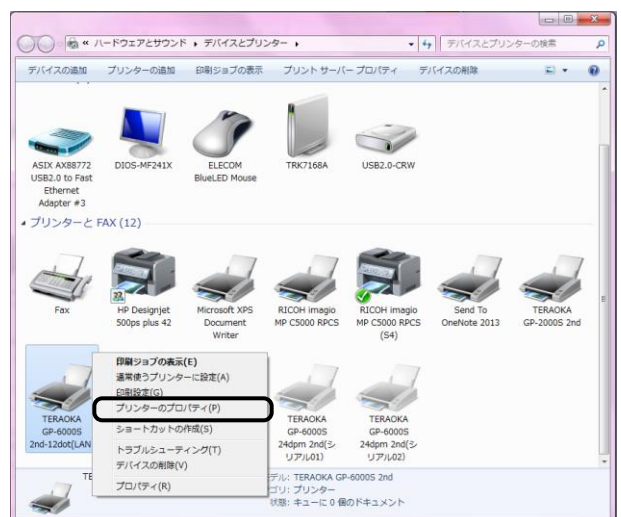


- ② 「コントロールパネル」ウィンドウを表示します。
③ **デバイスとプリンターの表示** をクリックします。

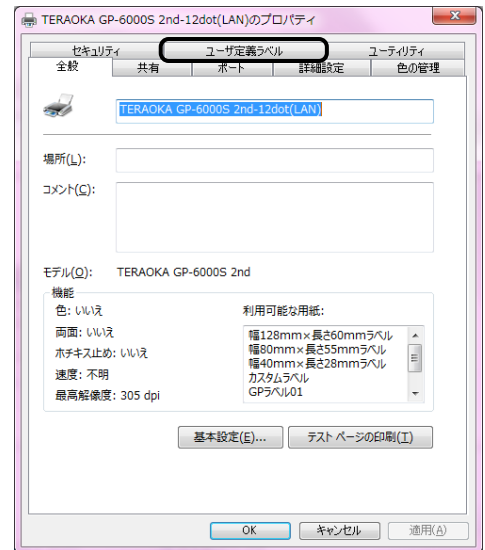
※これ以降の画面表示は、「Windows 7」で説明します。



- ④ 「デバイスとプリンター」ウィンドウを表示します。
⑤ 『3) プリンタードライバのインストール』の項目で、インストールした、「TERAOKA GP-6000S 2nd-12dot (LAN)」を右クリックし、**プリンターのプロパティ** をクリックします。



- ⑥ 「TERAOKA GP-6000S 2nd-12dot (LAN) のプロパティ」ウィンドウを表示します。
- ⑦ **ユーザー定義ラベル**をクリックします。



- ⑧ 「ユーザー定義ラベル」ウィンドウを表示します。
- ⑨ **追加**をクリックします。



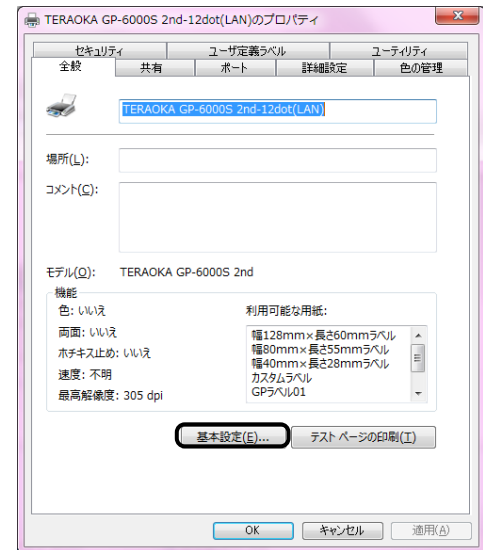
- ⑩ 「ユーザー定義ラベル [追加]」ウィンドウを表示します。
- ⑪ ラベルのサイズ等、各項目をお客様の仕様にあわせ設定します。

※ラベル名は、判り易い名前にすることをお勧めします。

- ⑫ すべての項目の設定が終了したら、**登録**をクリックします。
- ⑬ 複数枚のラベルを設定する場合は、⑩～⑫の手順を繰り返して登録してください。

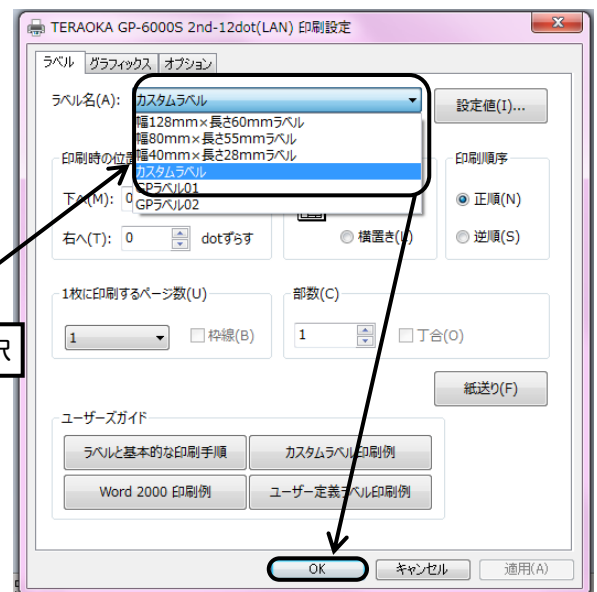


- ⑭ 「TERAOKA GP-6000S 2nd-12dot (LAN) のプロパティ」ウィンドウに戻ります。
- ⑮ **基本設定** をクリックします。



- ⑯ 「印刷設定」ウィンドウを表示します。
- ⑰ ラベル名の項目一覧より、使用するラベル名を選択します。
- ⑱ **OK** をクリックします。

ラベル名項目一覧より選択



4 旧プリンタードライバーアンインストール手順

プリンタードライバー(～Ver2.1.2～Ver4.0.0)アンインストール手順を説明します。

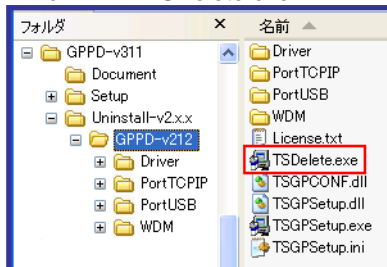
Windows プリンタードライバー第一世代(GPPD 1st) ～Ver2.1.2/Ver3.0.0～Ver3.1.1/Ver4.0.0 のアンインストール手順をご案内します。

アンインストールを実行した後は、必ず PC を再起動してください。

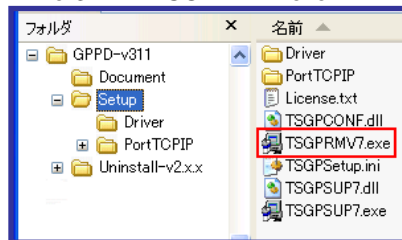
1) アンインストールファイルの格納場所

- ～Ver2.1.2 までのプリンタードライバー：「TsDelete.exe」
V3.x.x のセットアップ CD の場合—[GPPD-v3xx]-[Uninstall-v2.x.x]-[GPPD-v212]フォルダ内
V4.0.0 のセットアップ CD の場合—
[GPPD1st-v400]-[Uninstall-GPPD1st(v2.x.x)]-[GPPD-V212]フォルダ内
- Ver3.0.0～Ver3.1.1 までのプリンタードライバー：
V3.x.x のセットアップ CD の場合—[GPPD-v3xx]-[Setup]フォルダ内-「TSGPRMV7.exe」を使用
V4.0.0 のセットアップ CD の場合—
[GPPD1st-v400]-[Setup]フォルダ内-「TSGP_UnInstall.exe」を使用
- Ver4.0.0～のプリンタードライバー：「TSGP_UnInstall.exe」
V4.0.0 のセットアップ CD—[GPPD1st-v400]-[Setup]フォルダ内-「TSGP_UnInstall.exe」を使用

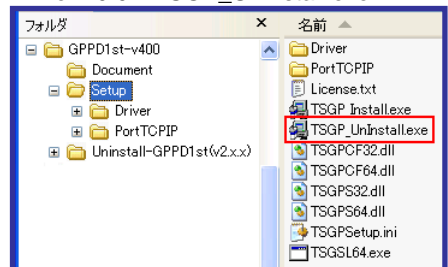
<Ver2.1.2：TsDelete.exe>



<Ver3.1.1：TSGPRMV7.exe>



<Ver4.0.0：TSGP_UnInstall.exe>



- GPPD 2nd V1.0.0～V1.0.1 が既にインストールされている場合
既存の V1.0.X をアンインストールしてから、V2.0.0 のプリンタードライバーのインストールを行ってください。

プリンタードライバー：「TSGP_UnInstall.exe」

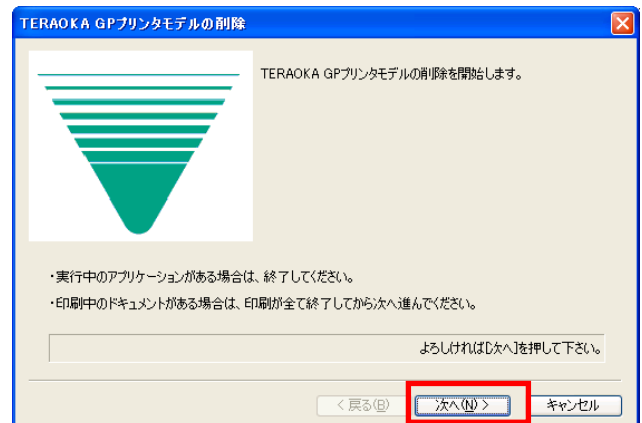
セットアップ CD—[GPPD 2nd -V2.0.0]-[Setup]フォルダ内-「TSGP_UnInstall.exe」を使用

※すべての GP プリンターモデルのアンインストールを行ってください。

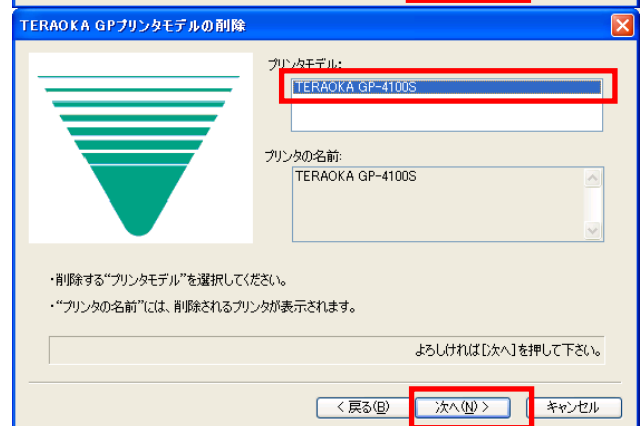
複数の GP プリンターがある場合も、台数分のアンインストールを行います。

2) アンインストール

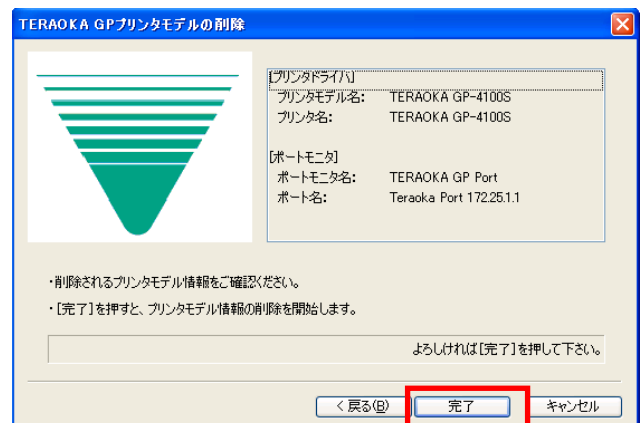
- ① アンインストールファイルをダブルクリックします。
- ② 「プリンタモデルの削除」ウィンドウを表示します。
- ③ **次へ** をクリックします。



- ④ プリンタモデルの項目にプリンターモデル一覧を表示します。
- ⑤ 削除するプリンターモデルを選択すると、プリンタの名前欄に表示します。
- ⑥ **次へ** をクリックします。

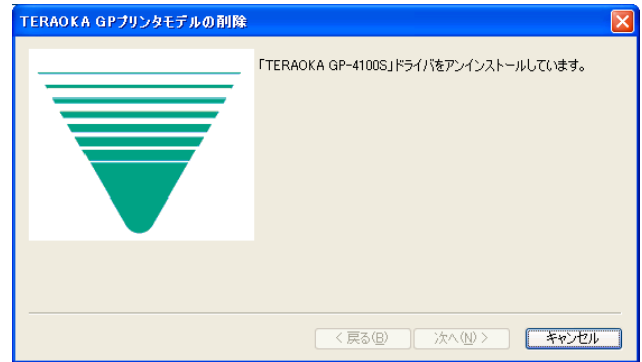


- ⑦ 選択したプリンタードライバーの各種情報を表示します。
- ⑧ 実行する場合は、**完了** をクリックします。
実行しない場合は、**キャンセル** をクリックします。

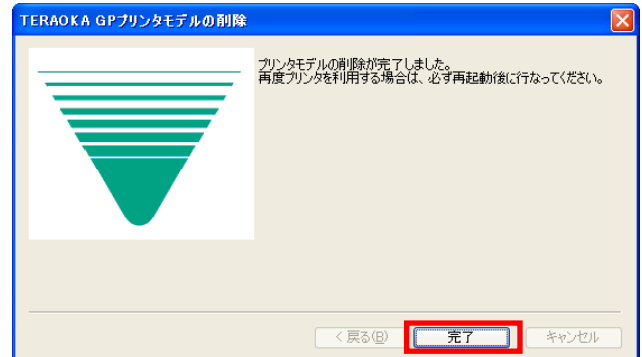


- ⑨ プリンタードライバーのアンインストールを実行します。
アンインストールが実行できない場合、[備考 1]のウィンドウを表示します。

ここで、
「他のプリンターでポートを使用しています。
削除を続けますか？」と表示された場合は、
「強制的に削除する」を選択し、**次へ**をクリックします。



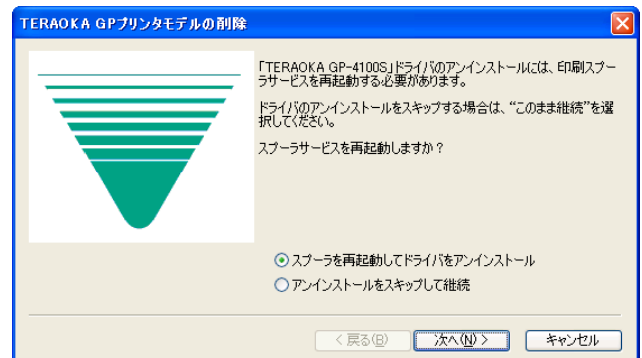
- ⑩ 「完了」ボタンをクリックします。
⑪ PC の再起動を行い、最新のプリンタードライバーのインストールを実施してください。



[備考 1]

このメッセージを表示したときは、一度 PC の再起動をし、再度プリンタードライバーのインストールを試みてください。

スプーラサービスのみ再起動して継続することができます。
「再起動」を選択し、「次へ」をクリックしてください。
スプーラサービスを再起動させない場合は、「このまま継続」を選択します。
アンインストールを中止する場合は、「キャンセル」を選択します。



[備考 1]

MEMO 欄
